

## 日本国際経済学会ニュース

発行：日本国際経済学会本部

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学研究科 神事直人研究室気付

日本国際経済学会本部事務局

Tel : 075-753-3511 (神事直人研究室) Fax : 075-753-3492 (研究科事務局)

E-mail : head-office@jsie.jp

会長挨拶

### 第72回全国大会を終えて

日本国際経済学会 会長  
岩本 武和

日本国際経済学会第72回全国大会は、横浜国立大学において、10月12日・13日の両日にわたり、270名余の方々の参加を得て盛大に開催されました。リーマン・ショックから5年を経過した世界経済の現状をテーマとした共通論題では、アメリカ、EU、新興国それぞれの視点から、興味深い報告と討論が行われました。また、各分科会においても多くの参加者があり、会員の皆様の研究報告の場を提供する役割を果たせました。韓国国際経済学会から派遣された研究者からも、所得格差や為替レートに関連したレベルの高い研究報告が行われ、20年に及ぶ両学会の学術交流を一層深めることができました。さらに、第8回小島清賞(研究奨励賞・優秀論文賞)、および第3回特定領域研究奨励賞(小田賞)に、合計5名の会員が受賞されたことも大きな成果でした。今大会を準備・開催していただいた横浜国立大学の先生方、プログラム委員会の先生方、および大会に参加していただいた会員の皆様に、改めてお礼を申し上げる次第です。

今大会の会員総会におきまして、選出理事の投票方法について支部別および所属機関別に設けられていた制約を一部緩和することが認められ、次年度の選出理事選挙から、会員の皆様により弾力的な投票をしていただくことが可能となりました。また、新入会員の入会説明書や入会申込書を若干変更するとともに、会員の変更届を新設し、これらはすでに学会HPに掲載しておりますので、ぜひとも新入会員のお声かけにご活用下さい。さらに、英文HPの充実とともに、今後は英語プレゼンテーションを積極的に奨励する方法も検討に入りたいと考えております。

次年度の「第4回春季大会」は2014年6月7日(土)に法政大学多摩キャンパスにおいて、「第73回全国大会」は10月18日(土)・19日(日)に京都産業大学において、それぞれ開催されることが予定されております。関係の先生方のご協力を仰ぐこととなりますが、多くの会員の皆様が研究報告に応募されることを願ってやみません。

今後とも会員の皆様からのご助言とご支援を賜り、より一層魅力のある学会にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

2013年11月25日

日本国際経済学会ニュース 2013/12/2 目次

◎会長挨拶	1	◎第73回全国大会プログラム委員会について	5
◎平成25年度会員総会 議事録	2	◎平成25年度新入会者(追加)	6
◎平成25年度小島清賞の決定と受賞について	4	◎日本国際経済学会の対外活動について	7
◎平成25年度特定領域研究奨励賞(小田賞)の決定と受賞について	4	◎平成26年度小島清賞について(お知らせ)	7
◎「選出理事選考」内記の改正について	4	◎平成26年度特定領域研究奨励賞(小田賞)について(お知らせ)	7
◎入会申込書の改訂と変更届の作成について	5	◎本部・各支部事務所所在地	8
◎第4回春季大会プログラム委員会について	5		

平成25年度会員総会 議事録

第1日

日時：2013年10月12日(土) 13:00~13:20

会場：横浜国立大学 常盤台キャンパス 経済学部講義棟1階111教室

議長：石川城太副会長(一橋大学)

1. 平成24(2012)年度事業報告について  
岩本武和会長(京都大学)より以下の通り報告があった。
  - (1) 第2回春季大会開催(2012年5月26日 南山大学)
  - (2) 第71回全国大会開催(2012年10月13-14日 甲南大学)
  - (3) 機関誌『国際経済(日本国際経済学会研究年報)』第63巻発行
  - (4) 機関誌『The International Economy』No.15発行
  - (5) 第7回小島清賞各賞及び第2回特定領域研究奨励賞(小田賞)の授賞
  - (6) 韓国国際経済学会への研究者の派遣
2. 平成24(2012)年度一般会計決算案について  
神事直人理事(京都大学)より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2013年9月25日号参照】
3. 平成24(2012)年度特別事業活動基金決算案について  
神事直人理事(京都大学)より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2013年9月25日号参照】
4. 平成24(2012)年度小島清基金決算案について  
神事直人理事(京都大学)より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2013年9月25日号参照】
5. 平成25(2013)年度事業案について  
岩本武和会長(京都大学)より以下の通り説明があり、審議した結果、これを承認した。
  - (1) 第3回春季大会開催(2013年6月8日 福岡大学)
  - (2) 第72回全国大会開催(2013年10月12-13日 横浜国立大学)
  - (3) 機関誌『国際経済(日本国際経済学会研究年報)』第64巻発行予定
  - (4) 機関誌『International Economy』Vol. 16, Vol. 17発行予定
  - (5) 第8回小島清賞各賞及び第3回特定領域研究奨励賞(小田賞)の授賞
  - (6) 韓国国際経済学会への研究者の派遣

6. 平成 25 (2013) 年度一般会計予算案について  
神事直人理事 (京都大学) より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2013 年 9 月 25 日号参照】
7. 平成 25 (2013) 年度特別事業活動基金予算案について  
神事直人理事 (京都大学) より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2013 年 9 月 25 日号参照】
8. 第 8 回日本国際経済学会小島清賞研究奨励賞および優秀論文賞の受賞者の発表について  
岩本武和会長 (京都大学) より標記について、研究奨励賞には阿部顕三氏 (大阪大学) と藪内繁己氏 (愛知大学) が、優秀論文賞に水田岳志氏 (慶應義塾大学・日本大学) と笹原彰氏 (University of California, Davis) が、それぞれ選考されたとの発表があった。【4 頁参照】
9. 第 3 回日本国際経済学会特定領域研究奨励賞 (小田賞) の受賞者の発表について  
岩本武和会長 (京都大学) より標記について、清田耕造氏 (慶應義塾大学) が選考されたとの発表があった。【4 頁参照】

## 第 2 日

日時：2013 年 10 月 13 日 (日) 13:00~13:20

会場：横浜国立大学 常盤台キャンパス 経済学部講義棟 1 階 111 教室

議長：石川城太副会長 (一橋大学)

1. 新入会員の発表について  
岩本武和会長 (京都大学) より標記について、2013 年 6 月 8 日の第 1 回理事会において 10 個人、当日の第 2 回理事会において 14 個人の入会申し込みが承認されたとの報告があった。【「日本国際経済学会ニュース」2013 年 9 月 25 日号および本号 6 頁参照】
2. 幹事および特命理事の任命について  
岩本武和会長 (京都大学) より標記について、高橋信弘氏 (大阪市立大学) と立石剛氏 (西南学院大学) を関西支部の幹事に任命するとともに、寺町信雄氏 (京都産業大学) を特命理事に任命したとの発表があった。
3. 春季大会に関する申し合わせについて  
岩本武和会長 (京都大学) より標記について、2013 年 6 月 8 日の第 1 回理事会において春季大会に関する申し合わせが承認されたことが報告された。
4. 内規の改正について  
岩本武和会長 (京都大学) より標記について、前日の第 2 回理事会において「選出理事選考」内規の改正が決定されたことが報告された。【4 頁参照】
5. 第 4 回春季大会 (2014 年) 開催機関について  
岩本武和会長 (京都大学) より標記について、法政大学多摩キャンパスで開催すること、開催日は 2014 年 6 月 7 日 (土) を予定していることが発表された。【5 頁参照】
6. 第 73 回全国大会 (2014 年) 開催機関について  
岩本武和会長 (京都大学) より標記について、京都産業大学で開催すること、寺町信雄特命理事 (京都産業大学) を大会準備委員長とすることが発表された。また、開催日は 2014 年 10 月 18 日 (土)、19 日 (土) を予定していることが発表された。【5 頁参照】
7. 第 73 回全国大会「プログラム委員会」の委員長および委員の発表について  
岩本武和会長 (京都大学) より標記について、青木浩治常任理事 (甲南大学)、大川良文理事 (滋賀大学)、遠藤正寛常任理事 (慶應義塾大学)、川越吉孝幹事 (京都産業大学)、中條誠一常任理事 (中央大学)、中本悟常任理事 (立命館大学)、藪内繁己理事 (愛知大学) の 7 名を委員に指名するとともに、大川良文理事 (滋賀大学) をプログラム委員長に指名すると発表があった。【5 頁参照】

8. 会員名簿について  
神事直人理事（京都大学）より標記について、入会申込書および入会申込説明書を修正するとともに変更届を新規に作成し、それぞれ学会ホームページに掲載することが報告された。【5頁参照】
9. 平成25年度韓国国際経済学会派遣研究者について  
岩本武和会長（京都大学）より標記について、齋藤哲哉氏（日本大学）、平岩恵里子氏（南山大学）、西山博幸氏（兵庫県立大学）の3名を派遣することが発表された。【7頁参照】

## 平成25年度小島清賞各賞の決定と受賞について

2013年7月21日に日本国際経済学会 小島清賞選考委員会が開催され、以下の通り各賞の授賞が決定されました。また、先日横浜国立大学で開催された第72回全国大会2日目（10月13日）に研究奨励賞及び優秀論文賞授賞式が執り行われ、阿部顕三先生と藪内繁己先生の受賞記念講演が行われました。

1. 研究奨励賞：阿部顕三氏（大阪大学）、藪内繁己氏（愛知大学）
2. 優秀論文賞：水田岳志氏（慶應義塾大学・日本大学）、笹原彰氏（University of California, Davis）

## 平成25年度特定領域研究奨励賞（小田賞）の決定と受賞について

日本国際経済学会 特定領域研究奨励賞（小田賞）審査委員会は、慎重な審議の結果、清田耕造氏（慶應義塾大学）を本賞の第3回受賞者とするに致しました。先日横浜国立大学で開催された第72回全国大会2日目（10月13日）に授賞式を執り行いました。

## 「選出理事選考」内規の改正について

「選出理事選考」内規が下記の通り改正されました。

【旧】	【新】
<p>[選挙の方法] &lt;&lt;1~2省略&gt;&gt; 3. 総数で9名以上、<u>所属支部の会員から7名以上</u>を記入した投票は全体を無効とする。また同一の者の複数記入については1票と計算する。被選挙権を有しない者への投票は無効とする。連記の定員に満たない投票はすべて有効とする。 &lt;&lt;4以降省略&gt;&gt;</p>	<p>[選挙の方法] &lt;&lt;1~2省略&gt;&gt; 3. 総数で9名以上を記入した投票は全体を無効とする。また同一の者の複数記入については1票と計算する。被選挙権を有しない者への投票は無効とする。連記の定員に満たない投票はすべて有効とする。 &lt;&lt;4以降省略&gt;&gt;</p>

改正理由：たとえ所属支部の会員から7名以上を記入した投票を有効としても、開票時に「役員・本部機構」内規[役員数]第1項で定められた選出理事総数及び「役員・本部機構」内規[役員数]第2項と「選出理事選考」内規[支部別選出理事数]第2項に定められた支部別選出理事数を適用する限り選考上の問題は特に生じないと考えられるため、下線部を削除する。

## 入会申込書の改訂と変更届の作成について

本学会では個人情報の取り扱いについてより注意を払うために、入会申込書の様式を改訂するとともに、会員が住所等の変更を届け出る際の利便性を向上させるために、変更届を新たに作成しました。いずれも学会ホームページより入手できます。所属機関や学会に届け出ている住所が変更になった場合は、変更届に記入の上、学協会サポートセンターへご連絡下さい。また、会員名簿記載事項に関する修正・追加・削除等につきましては学協会サポートセンターへご連絡下さい。なお、入会・退会のご希望につきましては本部事務局までご連絡下さい。

## 第4回春季大会プログラム委員会について

第4回春季大会は、2014年6月7日（土）に法政大学多摩キャンパスで開催される予定です。第4回春季大会のプログラム委員会は伊藤恵子氏（専修大学）、川野祐司幹事（東洋大学）、田島陽一氏（東京外国語大学）、松原聖氏（日本大学）、椋寛理事（学習院大学、委員長）、横田一彦氏（早稲田大学）の6名の委員で構成されることに決まりました。

## 第73回全国大会プログラム委員会について

第73回全国大会は、2014年10月18日（土）、19日（土）に京都産業大学で開催される予定です。第73回全国大会のプログラム委員会は青木浩治常任理事（甲南大学）、大川良文理事（滋賀大学、委員長）、遠藤正寛常任理事（慶應義塾大学）、川越吉孝幹事（京都産業大学）、中條誠一常任理事（中央大学）、中本悟常任理事（立命館大学）、藪内繁己理事（愛知大学）の7名の委員で構成されることに決まりました。

●成長センターASEAN経済共同体の重要テーマを説く！  
石川幸一・清水一史・助川成也編著  
定価2730円

●アジアの経済発展の軌跡を辿り、その開発経験を鮮やかに描く！  
セイジ・F・ナヤ著／吉川・鈴木・林訳  
定価2665円

●現代社会のリスクの本質を開示し、克服の平和経済学を提唱！  
郭 洋春 編著  
定価2600円

**ASEAN経済共同体と日本**

「巨大統合市場の誕生 二〇一五年、ASEAN経済共同体が創設される。完成すれば中国やインドにも対抗する経済圏となり、日本にとっても重要な地域となる。日本とASEANとの関係は四〇年を迎え、その経済関係を戦略的に見直す時期にきている。各分野の専門家が統合の状況、課題、実現への展望などを検討。

**アジア開発経済論** 持続的成長、貧困削減、危機克服の経験

アジア経済研究の第一人者が、高成長や貧困削減を促した成功要因、経済パフォーマンスの格差、一九九七―九八年の経済危機を生んだアジアの問題点からアジア経済発展の軌跡を辿り、開発経済学の枠組みから「アジアの開発経験」を描く。開発分野の学生、研究者、実務者に有用。開発経済学やアジア経済論のテキストとしても最適。

**開発リスクの政治経済学**

東日本大震災とそれに続く原発事故は、現代社会は決して安全な社会ではない、即ちリスク社会だということを認識させた。現代は開発をすればするほどリスクが増大する社会となった。なぜこれほどリスクが増大するのか。本書は現代社会のリスクの本質を明らかにし、克服するための新たな価値体系として平和経済学を提唱する。

●日本経済再生への処方箋を提示！  
浦田秀次郎・21世紀政策研究所 編著  
定価2940円

●真の国益を問う！ TPP推進論の決定版！  
石川幸一・馬田啓一・木村福成・渡邊頼純 編著  
定価2730円

**日本経済の復活と成長へのロードマップ**

「21世紀日本の通商戦略」 パブル崩壊後20年以上にわたり低迷する日本経済。エネルギー不安定供給、人口減少、高齢化、財政状況、経済の閉鎖性等々、日本経済に復活・成長の可能性はあるのだろうか？ 本書は通商戦略に焦点を当て、処方箋を提示。現在、日本経済にとり重要な戦略はTPPへの参加とRCEPの推進である。

**TPPと日本の決断**

「決められない政治」からの脱却 正念場を迎えた日本の通商戦略。TPP参加は、なぜ日本にとって戦略的に重要な選択であるのか。日本の真の国益は何か。本書は、TPPの意義、TPP交渉の現状と課題、日本の対応など様々な視点から鋭く考察。第一線で活躍する研究者たちが執筆陣に参加したTPP推進論の決定版。

**文眞堂** 〒150-8535 東京都新宿区早稲田鶴巻町五三三  
URL: <http://www.bunshindo.co.jp/>

## 平成 25 年度新入会者（追加）

※個人情報保護のため削除しました。

# 世界経済評論 WORLD ECONOMIC REVIEW

■2014 年 1/2 月号（2014 年 1 月 30 日発売）

総特集◎第 6 回白馬会議 “起死回生！ニッポン” ——「この 3 年」で何を実現すべきか

超人口減少社会日本の課題と挑戦

金子隆一（国立社会保障・人口問題研究所副所長）

リーマンショック後の世界経済変動と日本の役割

郭 四志（帝京大学経済学部教授）

日本経済再生の道

三輪晴治（ベイサンド・ジャパン社長）

幸せになる生き方、働き方

塚越 寛（伊那食品工業会長）

【コメント】茅野信行／坂本正弘／安室憲一 【スピーチ】小島 明 ほか

〈B5 判・64 頁／定価 1260 円〉

◎定期購読キャンペーン実施中！今、定期購読をお申し込みいただくと、年間 7000 円を 4200 円に！

WEB コラム「世界経済評論 IMPACT」好評発信中！

◎ 80 名を超える執筆陣が、毎週 5 本程度のコラムを発信。年間 240 本の“知の饗宴”です。HP からぜひアクセス下さい。

一般社団法人 **世界経済研究協会**

TEL:03-6423-0057/FAX:03-6423-0056 <http://www.sekaikeizai.or.jp>

## 日本国際経済学会の対外活動について

日本・韓国国際経済学会学術交流協定に基づき、2013年12月17日（火）にHongik University(弘益大学校)において開催される2013年度韓国国際経済学会・冬季学術発表大会に岩本武和会長、石川城太副会長、木村福成顧問および研究報告者として以下の会員の方々を派遣する予定です。

報告者：

齋藤 哲哉氏（日本大学）	“On Currency Choice: A Model For Economic Experiments”
平岩 恵里子氏（南山大学）	“Foreign Workers in Japan after the Global Financial Crisis”
西山 博幸氏（兵庫県立大学）	“Exchange Rate Fluctuation, Firm Heterogeneity, and Intra-industry Reallocation”

## 平成26年度（第9回）小島清賞について（お知らせ）

日本国際経済学会・小島清基金運営委員会委員長  
木村 福成

日本国際経済学会小島清基金運営委員会では、平成26年度（第9回）小島清賞の受賞者選考に際しまして、学会員の皆様からの推薦（自薦を含む）という形で候補者に関する情報を幅広く受け付けています。小島清賞には研究奨励賞と優秀論文賞があります。詳しくは本学会ホームページをご覧ください。

以下の宛先まで「郵送」にて候補者に関する情報（推薦書）をお寄せください。推薦書には、候補者の氏名、所属、業績、その他小島賞への推薦理由となる事柄をお書きください。様式は自由です。また、情報提供者ご自身の氏名、所属、連絡先（電話、FAX、電子メール等）もあわせてお知らせください。なお、情報提供の締め切りは2014年4月25日（金）とします。

郵送先 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45  
慶應義塾大学商学部 遠藤正寛研究室気付  
日本国際経済学会 小島清基金運営委員会事務局

## 平成26年度（第4回）特定領域研究奨励賞（小田賞）について（お知らせ）

日本国際経済学会・特定領域研究奨励賞（小田賞）審査委員会委員長  
岩本 武和

特定領域研究奨励賞（小田賞）は、「世界で活躍する国際経済学研究者を育成すること」を目的とし、次のような事業を内容とするものです（詳しくは学会ホームページをご覧ください）。

- (1) 国際貿易・貿易政策に関する優れた研究を行い、外国の査読付き雑誌に論文を掲載した学会員を顕彰する（審査対象論文は候補者の近刊および過去のすべてのものを含む）。
- (2) 受賞者は受賞年度3月末の時点で45歳以下とし、原則として毎年1名とする。
- (3) 受賞者には賞金10万円を授与する。
- (4) 本事業は平成22年10月よりおおむね10年を目処として実施する。

候補者は、自薦または審査委員会の推薦により、選ぶものとされています。自薦いただける方は、2014年6月末日までに、論文および略歴・業績表を、審査委員長宛（岩本武和：iwamoto@econ.kyoto-u.ac.jp）お送りください。

## 本部・各支部事務所所在地

【本 部】 日本国際経済学会 本部事務局  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
京都大学経済学研究科 神事直人研究室気付  
Tel: 075-753-3511 (神事直人研究室直通) Fax: 075-753-3492 (研究室事務室)  
E-mail: head-office@jsie.jp

【関東支部】 日本国際経済学会 関東支部事務局  
〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1  
中央大学経済学部 小森谷徳純研究室気付  
Tel: 042-674-3458  
Fax: 042-674-3425  
E-mail: komoriya@tamacc.chuo-u.ac.jp

【中部支部】 日本国際経済学会 中部支部事務局  
〒466-8673 愛知県名古屋市中区山里町 18  
南山大学経済学部 太田代(唐澤)幸雄研究室気付  
Tel: 052-832-3111  
Fax: 052-835-1444  
E-mail: jsie.chubu@gmail.com

【関西支部】 日本国際経済学会 関西支部事務局  
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155  
関西学院大学経済学部 東田啓作研究室気付  
Tel & Fax: 0798-54-4653  
E-mail: jsie-west@ml.kwansei.ac.jp

【日本国際経済学会ホームページ】  
<http://www.jsie.jp/>

【学協会サポートセンター】  
〒231-0023 横浜市中区山下町 194-502  
Tel: 045-671-1525  
Fax: 045-671-1935  
E-mail: scs@gakkyokai.jp

【学協会サポートセンターホームページ】  
<http://www.gakkyokai.jp/>